

飯綱高原スキー場後利用に関する サウンディング型市場調査の結果について

商工観光部観光振興課

サウンディング型市場調査実施状況

飯綱高原スキー場跡地の活用策について、以下のとおり調査を実施した。

2

事前説明会

開催日：令和3年8月6日(金)
場所：ハイランドホール飯綱
実施状況：15団体出席



対話

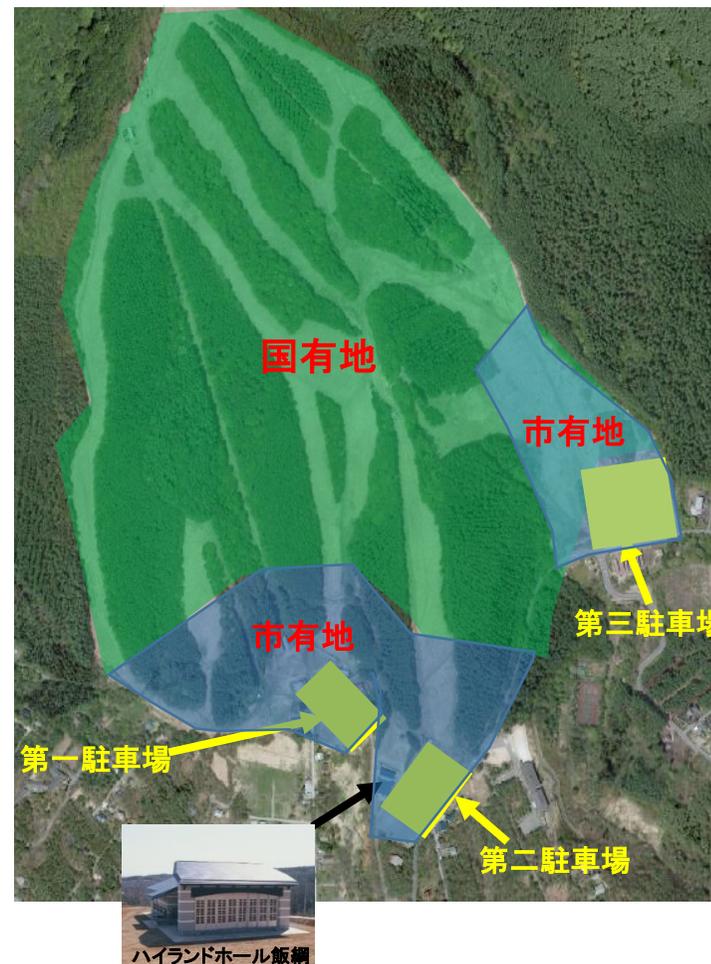
期間：令和3年9月8日～令和3年9月21日
参加団体：**8団体**
対話実施方法：対面方式及びオンライン方式の組み合わせにより実施
※事業内容の説明・質疑応答

事業者との対話結果(概要)

1 各事業者が使用を希望するエリアについて

3

使用を希望するエリア	団体数
第二駐車場＋ハイランドホール飯綱	2団体
第二駐車場又は第三駐車場	1団体
第三駐車場のみ	1団体
第三駐車場＋ゲレンデの一部(市有地)	1団体
第三駐車場＋ゲレンデの一部 (市有地＋国有地)	1団体
ゲレンデ(市有地＋国有地) ※第一駐車場を利用者駐車場として使用	1団体
指定なし	1団体
	合計. 8団体



2 飯綱高原スキー場跡地で実施提案のあった事業の内容（エリアごと）

第二駐車場エリア (使用希望合計⇒3団体)



拡大図



主な提案内容

- ・駐車場にスポーツシューティングのフィールドを整備
- ・駐車場やハイランドホール周辺の緩斜面を使ったスケートボード、雪板等のパークを整備
- ・ハイランドホールを体験学習や音楽イベントの場として使用
- ・ハイランドホール及びその周辺を「クリエイター」などのワーケーションスペースとする(ハイランドホールの周囲に「キャンプ場」、「スポーツ施設」を整備する)。

2 飯綱高原スキー場跡地で実施提案のあった事業の内容（エリアごと）

第三駐車場エリア (使用希望合計⇒4団体)



拡大図

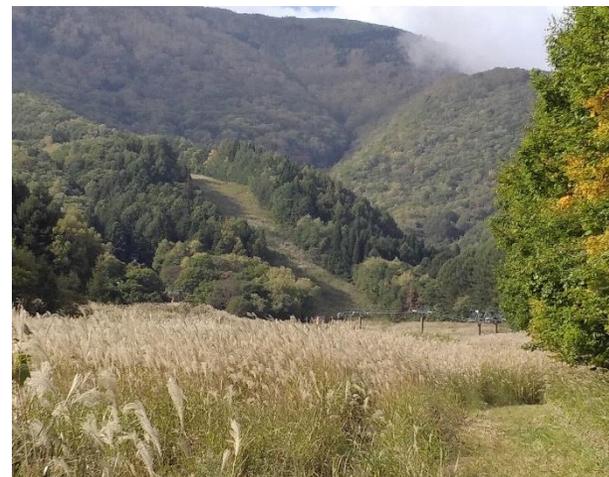


主な提案内容

- ・オリンピック競技の体験施設設置(モーグル傾斜面の体験等)
- ・子ども達による「手作りラジコンマシーンレース」開催
- ・観光客も観覧可能な開放的なオフィス、ラボ等の設置
(オフィスと併設で、非日常を体験できる福利厚生施設を設置)
- ・海外留学を目指す通信教育学校の運営
- ・地元飲食店などを含むキッチンカーの受け入れ
- ・スケートボード兼BMX練習場の整備

2 飯綱高原スキー場跡地で実施提案のあった事業の内容（エリアごと）

ゲレンデエリア (使用希望合計⇒3団体)



主な提案内容

- ・一部のリフトを活用したコンパクト型スキー場の運営
(スノーマシン設備への投資)
- ・夏冬活用可能な市民運営の会員制フィールドとして散歩道を整備。
リフトを撤去せず再利用し、プロジェクトベース学習・自然体験事業展開
(例: 山頂までの散歩道と自然観察、雪遊び場、ブッシュクラフト滞在等)
- ・ゲレンデの森林化にあたり、市民主体で散策路を整備する森林教育
プログラム実施
- ・ゲレンデに音楽堂や教育施設を設置し、既存のリフトを活用して運営

3 サウンディング型市場調査の結果を踏まえて

調査を通じて確認できた内容

- ・今回対象とした「スキー場後利用」のエリアが広大であったことから、事業者ごとに使用を希望するエリアが様々であった。
- ・舗装された駐車場である「第二駐車場」、「第三駐車場」の使用希望が多かった。
- ・ゲレンデを使用する提案についても、上記駐車場周辺の一部箇所を使用する提案が多く、ゲレンデの大部分を使用する提案は少なかった。
- ・昨年度地元有志で整備した「づなっち広場(そりゲレンデ)」など、地元で既に動き始めている事業や取組などと共存していきたいという内容の提案が多かった。

課題と方向性

- ・今回の提案では、活用エリアや事業コンセプトが相違する様々な提案があり、本施設の持つ幅広い活用可能性が確認できた一方で、その多様性ゆえに事業同士の比較が困難であること、各事業が飯綱高原における集客や地域の活性化に寄与するかどうか、などの課題も見受けられる。

今後は、調査で得られたご意見や地元の皆様のご意見などを参考にスキー場の後利用の検討を進めていきたい。